

ふれあい北守谷



明るい街、楽しい街、助け合える街に 令和 6 年 3 月 10 日 発行

2/13

市長懇談会

将来のまちづくり活動の方向性は！



広報紙30号発行記念として、松丸市長との懇談会を企画し、2月13日（火）に開催しました。市長の肝いりで発足したまちづくり協議会は北守谷地区でいち早くスタートしました。6年目を迎えるに当たり、次ページの項目について市長と奇譚の無い意見を交換しました。今後のまちづくり活動についての課題や方向性について有意義な懇談会となりました。

常総ニュータウン北守谷地区は計画人口32000人、1982年4月に入居スタート、42年が経ち、現在約17000人、守谷市の約24%の人たちが住む街です。高齢化が進む中で、若い世代との交代が進み、住みたい街、住みやすく、助け合える街になる様に積極的に活動しています。今後この活動を継続していく為に、行政と地域が一体となって、他地区とも情報交換をしながら進めていきます。

ふれあい北守谷 第30号に寄せて

北守谷地区まちづくり協議会会長 鈴木 榮



ふれあい北守谷発行に当たり幾度の取材や度重なる編集作業等でご苦勞されている広報部会の皆さんに改めて感謝申し上げます。

お陰様で北守谷まちづくり協議会の活動も2018年4月の発足から6年目を迎えました。現在は会員が100名で「地域世代を超えた交流の輪（和）」が広がる“まち”を目指して、各施策事業に取り組んでおります。

具体的事業としまして、

- ・オープンカフェ（3箇所）やフリーマーケット事業
- ・地域内での庭木の手入れ、粗大ゴミの処分など困り事の助け合い事業（5自治会）
- ・食を通じての健全育成の「もりやっこ食堂」事業
- ・各小学校区での避難訓練や避難所開設訓練（地区防災活動）
- ・地区内公園のベンチ清掃、修理などの環境整備や遊歩道保全提言事業

などこの6年間で活動の範囲が広がり、今年度はトータルで24事業に取り組んでおります。

守谷市10地区のまちづくり協議会の中でも最も活発な活動をしており、この活動を住民の皆さんに伝える手段である広報紙の役割は大きいと考えております。現在の課題としては

- ・担当者の負担軽減・役員・会員の高齢化・自治会や学校関係者との連絡強化

などがありますが、これからも誰もが助け合いながら、安全・安心で住みやすく「ずっと住み続けたい街」「若者が住みたい街」づくりを目指して積極的に活動を進めて参りたいと考えております。どうぞ北守谷地区の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

① まちづくり協議会活動の交付金予算措置の方針

守谷市の一般予算の0.1%を活動費に充てると伺っているが、この方針は今後も変わりありませんか？

・現在の予算規模300億円超からすると0.1%は3000万円に相当しますが、当初の方針から変わりなく、行政と一体で進めます。

② 北守谷地区まちづくり協議会の専用会議室（事務所）の確保と職員先任者の配置

当協議会は現在24事業を進めていますが、事業の確定・充実化を図るにしても、また新規の施策に取り組むにしても、打ち合わせ施設がない、打ち合わせる市担当職員に時間的に余裕がないほどの現状です。

より一層のまちづくり活動の充実や拡大には運営管理に要する会議施設と人材確保が必要です。

・打ち合わせ等会議し施設は、公共施設の一部専用化、守谷テラスなどの使用可能施設を調査して確保するよう関係課と進めてはどうか。

・身近に相談できる専任者の配置等は関係課と話し合い進めてはどうか

☆ 会議室等施設の確保は市民協働推進課の考えをベースにまちづくり協議会で安価な賃料の空き店舗を探す事にする。目途がついた段階で協議会で「専用会議室等確保検討委員会」を立上げ具現化する。

☆ 職員数には限りがあるので専任化は難しいため、極力、身近に相談できる体制を整えていく。

③ まちづくり協議会会員の活動に対するインセンティブ化（活動手当やポイント制など）

会員も高齢化して壮年層へバトンタッチすべき時期に来ています。壮年層は会社勤めも65-70歳となっており、地域に係る活動は制限されています。壮年層へバトンタッチする為にも以前より提案しているポイント制の導入などの検討をお願いします。

・幅広い年齢層での活動推進のためにも必要と考えている。まずまち協の方で検討して提案したらどうか。

☆ 活動に対するインセンティブは今後2、3年かけて「ボランティアポイント制」を導入にむけて検討する。導入にあたっては、導入市町村の実態調査等をふまえる。市内他のまち協の意向も確認が必要で、アンケート調査などの時間が必要なので、少なくとも2-3年の期間を要する。

④ 公園・遊歩道の大木（立ち木）の伐採等の対処

公園・遊歩道には15m以上の大木が多数あり、枝葉が車道・民家まで覆い、歩行の妨げや防犯上の問題にもなっており、速やかな予算措置と対処をお願いします。

・倒木による人災事故や環境悪化をなくすためにも対処すべきと考えている。ただ、市で行うと色々な意見がでて市役所に苦情が来ることも多い。3年契約している造園業者にはまち協と連絡を取る様に言っているの、地域で問題が起きない様にして処理を進めて欲しい。

☆ 公園の通常の維持管理は建設課が公園周辺の自治会の意向を確認しながら実施するが、突発的な対応が必要な場合や長期的な課題については、「北守谷地区公園等環境整備連絡会」を設けて対策を検討、市への対応依頼をおこなう。

⑤ 「御所ヶ丘小学校地区避難マニュアル作成」への支援

北守谷地区まち協の防災部会は「地区防災活動」の策定を他地区に先駆けて行い、交通防災課に提出し、現在議会採択に向けて審議されています。改めて現在の市の防災設備の問題点を取り上げました。

・災害時における受水槽への注水車や給水車の設備や動力用のポンプなどの不十分な点は市としても実態を把握して検討する。

・小学校区単位の災害避難マニュアルの作成は関係部門と連絡をとり推進してください。

☆ マニュアルは当面既存の設備をベースに作成する。設備等の課題は常に担当課に申し進める事とする。

⑥ 北守谷地区の将来展望について（再開発ビジョンへの提言）

北守谷地区は住宅公団常総ニュータウンとして当初計画は人口32,000人の規模で開発され、この40年間で人口達成率が53%の17000人で大幅未達です。大変優良な宅地であるにも拘わらず、まだ空地も多く、高齢者にとって、買い物が不便になり、交通網も不便となっています。

当初の計画に立ち返り「北守谷地区の再開発・再活性化」の新たな施策についてお聞きました。

・新守谷駅から守谷テラスまでバリアフリー化の工事を進める。新守谷駅周辺開発などを含め地域の特色を生かした北守谷地区の将来展望を考えたい。

・北守谷地区の将来展望について、若い年齢層を含めて委員会を立上げてください。皆さんと年2回程度話合っていきたい。

☆ まちづくり協議会メンバーを中心に「北守谷地区活性化委員会」を立上げ議論を深めることとする。

佐倉市 ユーカリが丘タウンネットワークとの交流会

1月13日(土)佐倉市にあるユーカリが丘のまちづくり活動をしているユーカリが丘タウンネットワーク(YTN)を訪問し「まちづくり活動」について交流会を実施しました。(YTNは旧ユーカリが丘地域まちづくり協議会をNPO法人化した組織)

先方からは10名、北守谷地区まち協からは6名が参加し、これまでの活動経緯、活動内容など共に関心のある話題が多く有意義な交流会となりました。



奇しくもユーカリが丘ニュータウンは我々の常総ニュータウン北守谷地区と同時期に開発され、開発面積も250haで我々の260haとほぼ同じです。開発当初から世代循環型のまちづくりを進めてきており、現在約19000人、約8000世帯とほぼ同じ規模の住宅街になっています。

YTNのモットー「私のふるさとユーカリが丘!」と胸を張れる街

地域の共通の課題を取り上げ、ユーカリが丘の街全体の広域的な諸課題の解決や街の活性化及び少子高齢化に対応する街ぐるみの組織活動をしています。

また、ユーカリが丘地区の自治会協議会と連携、協力して問題・課題を共有しています。

①まちづくりの推進を図る事業

②地域福祉の推進を図る事業

③環境美化・保全を図る事業

④防犯・防災及び災害救援事業

⑤情報化社会の発展を図る事業

⑥商店街などの活性化を図る事業

具体的な活動

① 京成線の通常特急の停車の実現(一部実現)

地域の大きな問題は実現には時間がかかりますが、粘り強く活動して、京成電車の通常特急の停車を実現することが出来たそうです。現在は更に特急が停車できるように継続して活動しています。

② 広報活動 広報紙とIT化の駆使

広報紙(年4回)発行の他に、いち早くユーカリTVを開設、ユーチューブでインターネットニュースやホームページも専任者が随時更新、身近な情報を誰でもいつでもどこでも出来るアクセスできるようにしています。

③ 防犯・防災

防災フォーラム

防犯カメラの設置

④ 世代間交流

コミュニティカフェ(毎月1回開催)

世代間交流・子育て交流

名画鑑賞会

田んぼ・畑体験

マルシェ(地産地消・野菜販売)

ソフトボールチーム

ゴルフコンペ

くつろぎベンチの設置



地域内5.2kmを周回する電車



ユーカリが丘開発地域は北守谷とそっくりです。京成線ユーカリが丘駅を起点に広がっています

ユーカリが丘のYTNの活動は我々の今後の活動に大変参考になりました。

我々のまちづくり協議会と設立経緯には違いがありますが、めざす頂上は同じです。地域の共通の問題を皆で共有し、課題を明確にして進めなくてはなりません。その一つは情報発信のIT化で特に若い世代には必要です。また高齢化問題はどこの自治体でも同じですが、世代交代を図る施策はまだ遅くはありません。北守谷地区も新守谷駅周辺はさびれてきておりますが、17000人という人口はまだ発展の余地がありますので行政と一緒に進めたいと思います。

ユーカリが丘ニュータウンは1971年に佐倉市の丘陵地区に「山万株式会社」が開発着手、1980年(S55)に入居を開始した街です。250haの開発面積や開発時期は我々の北守谷地区とほぼ一緒です。

このユーカリが丘は開発当初から基本理念である、自然と都市機能の調和による「いつまでも住み続けられる街」をめざして発展してきました。現在の人口は約19,000人、8,000世帯で新守谷駅に相当する京成線「ユーカリが丘駅」からは団地内をつなぐ電気動力にゴムタイヤで走る交通システム(全長5.2km)で繋がれており、また2020年には路線バスも運航開始、駅前には高層住宅、商業施設が充実、学校や医療施設なども積極的に誘致を行い、長期計画に基づいて着々とまちづくりを進めています。



ユーカリが丘YTN

令和6年度 活動予算案

北守谷地区まちづくり協議会の次年度の概略予算は右表の様にしております。

今回の市長懇談会で話題となりました協議会の活動拠点整備事業とデジタル化の検討事業を新たに開始する予定です。他の事業についても引き続き活発な活動が出来るように予算化していきたいと思ひます。

この事業を達成するためには地域の皆様のご協力が必須ですのでよろしくお願いいたします。

また、いつもメンバーの募集をしております。

北守谷地区まちづくり協議会 令和6年度 概略予算案

活動内容	事業担当	予算
助け合い、スマイル健康体操教室、もりやっ子食堂、福祉ランドゴルフなど	地域福祉部会	1,300,000
ぶらぶら亭、くわがた亭、こども工作教室、フリーマーケット	交流活動部会	610,000
学校区防災訓練、防犯、交通安全活動	防災・防犯・交通安全部会	650,000
公園ベンチ美化、啓蒙活動	生活環境部会	350,000
広報紙の発行他	広報部会	300,000
敬老行事	敬老行事事業	600,000
協議会運営・活動拠点整備事業	協議会運営費	489,000
デジタル化検討事業		300,000
夏まつり資機材修繕事業	夏祭り支援	600,000
計		5,199,000



交流活動部会今後の活動は、誰もが世代を超えて交流できる憩いの場を増やしていきたいと考えています。ぶらぶら亭やくわがた亭、喜楽荘に続く立沢亭！？
 昨年は立沢公園でフリーマーケットを初開催し、出張ぶらぶら亭を再開しました。立沢公園での開催日を少しずつ増やして、誰もが喜んでいただけるイベントを企画したいと思ひます。

多くの方々にご利用されている公園です。極力ご迷惑が掛からぬように取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

ぶらぶら亭・くわがた亭では、地域の皆さんとふれあいながらコーヒー提供のお手伝いをしていただける方を募集中です。短時間のお試し参加でも OK です！

どこでも茶屋

ぶらぶら亭・くわがた亭

美味しいコーヒーを飲みながら、地域の皆さんとの触れ合いを楽しめる憩いの場です。

ハーモニカ演奏会や民生委員の相談会なども開催しています。



フリーマーケット

地域交流の活性化と、リユース・リサイクルを推進し開催しています。

出店者とお客さんと触れ合いながらのアットホームなイベントです。



子ども工作教室 おもちゃ病院

多世代間交流とものづくりの楽しさを経験できる活動です。大切なおもちゃを預かり修理もしています。



喜 楽 荘

貴重なひょうたん工芸品の展示や絵画展示会、イベントなども開催しています。地域の皆さんの“居場所”として賑わっています。



春シリーズ日程

4月	7日	(日)	ぶらぶら亭・フリーマーケット	大山公園
	14日	(日)	くわがた亭	くわがた公園
	21日	(日)	ぶらぶら亭	大山公園
	28日	(日)	ぶらぶら亭・フリーマーケット	立沢公園
			くわがた亭	くわがた公園
5月	29日	(月・祝)	(予備日)ぶらぶら亭・フリマ	立沢公園
	5日	(日)	ぶらぶら亭	大山公園
	12日	(日)	くわがた亭	くわがた公園
	19日	(日)	ぶらぶら亭・フリーマーケット	大山公園
	26日	(日)	くわがた亭	くわがた公園
6月	2日	(日)	ぶらぶら亭・フリーマーケット	大山公園
	9日	(日)	くわがた亭	くわがた公園
	16日	(日)	ぶらぶら亭	大山公園

(ぶらぶら亭) 皆様のおしゃべりも楽しみの一つです

(フリマ) お値段交渉しながら会話も弾みます



ぶらぶら亭・くわがた亭 HP

QRコード



開催情報やイベント情報、お手伝いのお問い合わせもこちらから！

フリーマーケット HP

QRコード



開催日程や開催可否、フリマに関するお問い合わせなど。

喜楽荘

喜楽荘の一般財団法人化：喜楽荘は守谷市で初めての一般財団法人として認証される予定です。今後も地域福祉に貢献できる様に楽しいイベントを企画して運営していきます。気軽にお立ち寄りください！（薬 5-20-6）

毎週月曜日：傾聴の会（傾聴ボランティア楽ハート事業）

毎週水曜日：ギャラリー展示会 3、4月は岩田京子画伯の日本画展示会

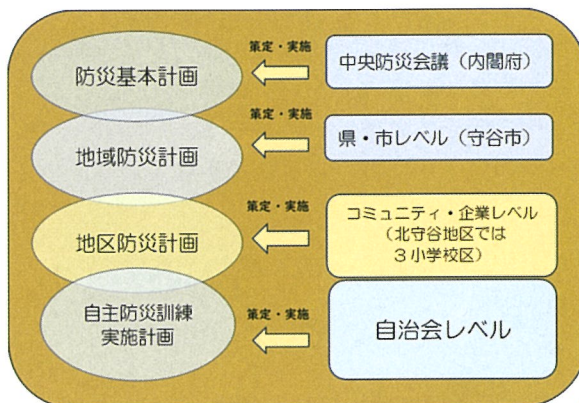
毎週金曜日：カラオケ



ステンドグラスのランプ制作者の塚越さん

R6年度防災活動 地区防災計画づくり&避難所運営支援

- ・地区避難訓練は11月に計画！！
- ・北守谷地区の3小学校区避難所で数カ所同時訓練実施計画！
- ・自治会・町内会、学校、消防団との連携・協力体制の強化を図る
- ・中学校区全戸に防災ハンドブックの配布



防犯・交通安全

- ・「見守り・ながらパトロール」の活動強化
- ・自治会・町内会長にパトロールの協力を呼びかけ、被害者ゼロを目指します！
- ・小学校新入生全員に交通安全のグッズの配布

生 活 環 境 部 会

生活環境部会では、お年寄りや子育て世代の皆様が安心して楽しめる様、11の公園140基あまりのベンチの美化活動を行っています。その他に公園の美化活動として

立沢公園の郵便局傍に「やまゆり花壇」を借り受け、ユリ球根の分球等、また学童通学路の安全確保の為、樹木の枝打ち等を手がけています。今後は地域の皆様との協働活動として、自治会の協力を得ながら進めたいと思います。部会では人員不足で思いのほか作業がはかどりません。皆様方には月2時間程度の協力をお願いし、今後の円滑な事業を支えていただきたいと思います。

連絡先：生活環境部会部会長 宮野入さん、 090 8504 2023

昨年12月に守谷市協働のまちづくり推進委員がこの活動の視察に来られました。



部員による実演



視察された女性による体験



委員長による体験



委員団の見学



カビなどによる汚れ



翌日の防腐・防水処理後

北守谷地区まちづくり協議会では偶数月の第3土曜日に役員会、奇数月の第3土曜日に拡大活動推進会議を開催します。この会議には自治会長、学校教育関係者、民生委員・児童委員等のメンバーにも参加して頂き、各分会の活動状況の確認や今後の進め方について意見を述べる場です。北守谷地区の問題を皆で共有し、今後の地域活性化の活動に生かしていく為の重要な会議として位置づけております。



2023/9/16 拡大活動推進会議の様子



地域福祉部会は10の事業を展開しております。今年度から久保3の久保さんが部会長になりました。来年度は現事業の中でも、次の3つの事業を主に強化していきたいと思います。

- ① 自治会での「助け合い・支え合い活動」の支援：この活動が広がる様に立上げ費用を支援します。
- ② 「もりやっ子食堂」の支援：毎月最後の土曜日に文化会館で開催しています。最近、食材を寄付してくれる方が多くなってきており、限られた予算の中でのなるべく楽しいお食事が出せる様に工夫しております。先着100名ですが、是非お立ちより下さい。（付き添いの大人は200円）
- ③ 「子どもの見守り」活動の支援：ボランティアの方の高齢化が進んでいますので参加者を募集します。

① 御所ヶ丘5丁目地域内における互助の助け合い事業

御所ヶ丘5丁目において助け愛の会会員により、高齢者世帯、障がい者世帯等に対して、一般家事・家まわりの樹木の手入れ等のお手伝いを行っています。

② 久保ヶ丘3丁目地域内における助け合い事業

久保ヶ丘3丁目地域内で既に設立されている互助組織が、サポートの必要があると認める高齢者世帯のお困りごと（庭木の管理・簡易的な日曜大工）に対応しています。

③ 松前台ひふみの会助け合い事業

松前台地区1、2、3丁目高齢者助け合い活動として、粗大ごみの搬送及び、庭木の整枝処理活動を行っています。

④ 松前台5丁目助け合い活動事業

松前台5丁目における高齢者世帯や障がい者世帯等を対象とし、生活に困っている世帯の支援を展開しています。

⑤ もりやっ子食堂事業：文化会館

共食の機会が減少している子どもへの団らんの機会を創出するとともに、食と交流を通じた子どもの健全育成の支援を行っています。

⑥ 傾聴ボランティア楽ハート事業：喜楽荘

相手の悩み事等を聴き、共感し、不安を和らげることで、良好な人間関係の構築を行っています。

⑦ スマイル体操開催事業

スマイル体操教室を開催し、地域にフィットネス・セルフケア活動の場を創出するとともにノーマライゼーションも推進しています。

⑧ 健康スポーツ推進事業

誰でも気軽に参加できるグラウンドゴルフやシルバーハビリ体操等の健康スポーツを通じて健康寿命の延伸を推進しています。

⑨ 子どもの見守り強化事業

子どもの見守りを強化・推進するための活動を行っています。

⑩ 支え合い・助け合い制度構築事業

支え合い・助け合い制度を構築する地区の支援等を実施しています。



ひふみの会の庭の剪定

もりやっ子食堂 文化会館
カレーが再開しました！！

優勝旗を受ける城央祐選手

ちょっと嬉しい地域の自慢話

御所ヶ丘中学校出身の城央祐さんは1月7日の高校ラグビー選手権で優勝した桐蔭学園のキャプテン、大井沢小出身で常総ラグビー部に所属していました。第18号（令和2年3月25日発行）で紹介しましたが、令和元年（2019年）9月に南茨城ラグビースクールとして第10回全国中学生ラグビー大会で優勝したメンバーでした。桐蔭学園ではポジションはNo8で4月からは早稲田大学に進学します。皆さん応援しましょう！身近で自慢したい方がおられましたら連絡お願い致します。



2019年当時、左から3年生の山下裕太郎さん、竹本晃大さんと2年生の城央祐さん

北守谷地区（御所ヶ丘中学校区）

コミュニティ・スクールの今後の協働体制化

学校と地域住民が力を合わせて「地域とともにある学校」への転換をめざして、今年度は御所ヶ丘中学校区がモデル地区としてスタートしました。北守谷地区まちづくり協議会では中学校の職場体験先の紹介を行い、また小学校では「防災訓練の一貫で引き渡し訓練に参加」や「昭和の子ども遊び」などのお手伝いをしました。

来年度は右図のような体制で進めていく予定です。地域の色々なイベントにも積極的に参加してくれています。

皆さんの積極的な対応を期待しています。

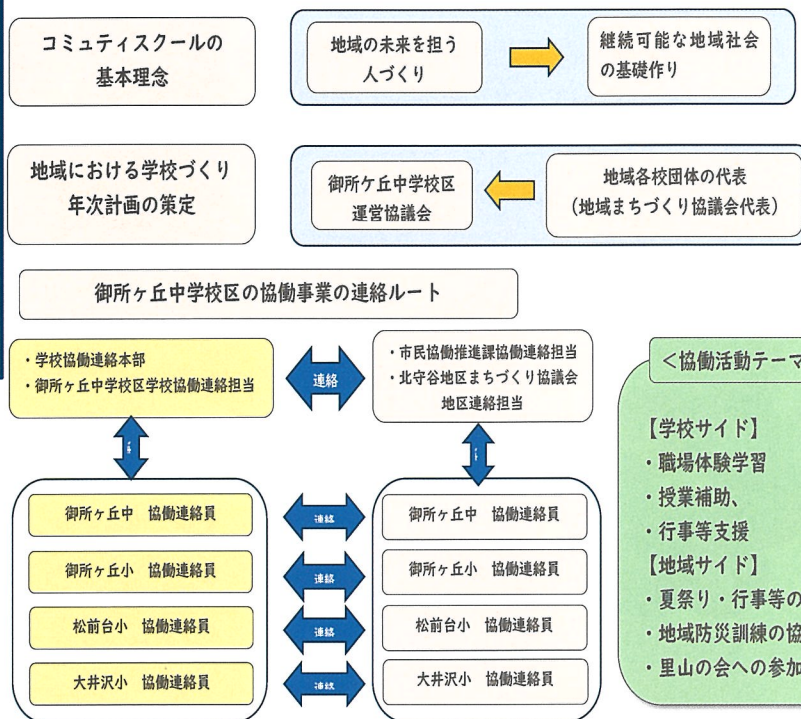


2年生の食品会社での職場体験

御所ヶ丘中学校区コミュニティスクールに伴う協働活動連絡体制

2024.1

北守谷地区まちづくり協議会



第21回

2/19-25

もりりん北守谷地域ふれあいまつり

「ここ数年はコロナ感染症の影響で中止、或いは規模を縮小したおまつりでしたが、今回は概ねコロナ前に近い形で開催することが出来ました」という実行委員長 小松洋一さんの挨拶で始まった今年の地域ふれあいまつり、作品展示は19日から25日の7日間、24、25日は模擬店と催し物を行われました。

催部門16サークルの舞台発表は日頃の練習の成果が十分発揮され、大変見応えがありました。観客も椅子席一杯になるほどで皆さん大変喜んでおられました。

また展示部門10のサークルは書道クラブ、写真クラブ、絵画、短歌など素晴らしい作品を見ることができました。

さらに、24日の和室で行われた「令明の会」の茶会はひな祭りに合わせた掛軸、生け花、ひな人形、お茶碗と美味しいお菓子でおもてなしをうけました。来年は小中高の生徒の作品なども含んだ更に賑やかな「地域のふれあいまつり」になることでしょう。



ドルチェの皆さんの合唱



フォークダンスサークル



ウクレレサークル



松前台短歌会



絵手紙さくら



「令明の会」の茶会



書道クラブ

年末のビックイベント、今年は予約制 140 人×4 部制で開催されました。今年も多彩なブースが作られ、小学生ボランティアは準備から当日の運営・片付け迄を担当し、1つのイベントを作り上げる楽しさを体験しました。

工作系では、コマづくり、カレンダー、サンタブーツ、ピラミット、ブラパン、と盛り沢山。

参加系では電車でGO!、クレーンゲーム、ホッケー。「電車でGO」は台車に乗り、綱を引っ張りゴールを目指します。自分で設定した目標タイムピッタリに到着するのは難しかった様ですが大人気でした。

守谷高校 JRC 部は防災クイズや災害グッズ 新聞スリッパ、簡易トイレを子ども達にわかりやすく紹介・実演してくれました。守高 JRC 部のメンバーは地域イベントに積極的に参加してくれており、大変感心しました。

また、今年初めてのリユースコーナーが設けられ、服、文具、おもちゃ等を必要な人達が自由に持ち帰りできました。キターレのスタッフは皆に喜んで頂けるよういつも工夫を凝らしてしてお持ちしています。



「台車でGO」



「台車でGO」は自分で引っ張ります



トイレ体験



紙スリッパ



リユースコーナー



クレーンゲーム



コマ回し



ホッケー

地域の活動紹介：少林寺拳法 茨城守谷



米地明彦道院長

少林寺拳法は、1947 年に開祖「宗道臣」によって創始されました。開祖は戦後日本で不正と暴力が白昼横行する荒れ果てた状況を目の当たりにし、混迷する日本を立て直す気骨のある青少年育成を目標として、香川県多度津町で活動を始め「人づくりによる国づくり」を掲げ、現在に至っています。また、少林寺拳法はむやみに強さや技の巧拙を争わない。人と比べるのではなく、昨年までの自分より今年どれだけ成長できたか、自分がいかに

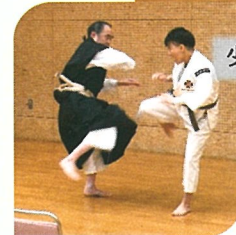
変わることが出来るか可能性を信じて、日々修行を重ねます。

その理念は「自己確立」「自他共榮」であり、この理念のもと、わたしたち少林寺拳法守谷の拳士は、「楽しくなければ少林寺拳法ではない」をモットーに、現在は 6 歳から 74 才までの仲間が日々修行に励んでいます。毎週火曜日 19 時から一般、木曜日 19 時から少年の部と一般を対象に活動しています。

連絡先：米地明彦 090 4952 0999



少年の部



一般の部

「ふれあい北守谷」第 30 号のご感想・ご意見等をお寄せください！

右の QR コードをスマートフォンのカメラで読み込むとアンケートサイトが開きます。
お寄せ頂いた内容は、「ふれあい北守谷」記事の参考以外に使用いたしません。



ご意見・ご感想
はこちらから→



<編集後記> 30号記念号の企画として佐倉市のユーカリが丘タウンネットワークの皆さんとの意見交換会を実施しました。同じ広さの土地に同じ位の人口のまちづくりがほぼ同時期開発されましたが、40年超経ってその街の様相が全く違ったものになっています。世代交代型の街づくりを50年計画に基づき「長期に亘りぶれることなく進めた」ことがユーカリが丘地区が成功した秘訣だと痛感しました。我々の北守谷もまだ改革、改善の余地がありますので、地域活動を通して意見交換しながら「若者が住みたくなる街」にしていきたいものです。何もしないと我々の財産価値が下がります。まだ可能性はあります。ぼーっとしていたら「チコちゃんに叱られますよ」 (増)